

竹中工務店 清水建設

■ ゼネコンの本来の役割は？ 責任は？ 一体どこに…

が約束を破った！

2010年に交わした約束守れ！

- ① 2010年に約束した標準価格、旧契約16300円、新契約16800円を直ちに実施すること。
- ② 各工事現場に、ミキサー車のシュート洗浄場を設置し、危険箇所には誘導員を配置。また、過積載車両の出入りを禁止すること。
- ③ 品質管理、マル適マークの適切な運用のために労働組合役員を補助員としておく「品質監査補助員制度」が工業組合との確認事項。今後各工事現場に抜き打ち検査に入る場合がある。各工事現場の監督は調査の妨害行為がないように万全の体制を整える。

安値乱売で中小企業や労働者が崖っぷちに立たされている状況を再建するために、2010年に生コン業界で働く労働者は、4ヵ月を超える長期ストライキで必死に闘った。

しかし、ゼネコンはその約束を平気で反故にしている。「世界に名だたる竹中・清水がそんなことをするはずはない」と、現在約束履行を求めて申し入れを行っている。

竹中工務店は「販売店・広域協組から値上げの説明は受けておらず認識がなかった。ストライキだったので、出荷するためにとりあえず書面にハンコをついた」と説明。

竹中工務店が捺印した「新価格応諾」の書面

ゼネコンの皆さん、そんな適当なの？
人や企業間の約束は、地球の重さより重いものではないのですか。

清水建設が捺印した「新価格応諾」の書面

際限なきコストダウンによって、私たちの
安心・安全や生活を奪わないで…

生コン産業政策協議会 (生コン産労・全港湾大阪支部・近圧労組・関生支部) 大阪市西区川口2-4-28

TEL.06(6583)5546

政策協議会共同ニュース

2014年
10月6日号

竹中工務店



竹中が市の承認と異なる手順で工事！

名古屋駅が浸水し、9時間も電車が運休 15万人に影響！

今年9月25日午前3時頃、名古屋市営地下鉄東山線名古屋駅に雨水が流入。駅員が119番通報した。

雨は一時、ひざ下あたりまで達し、地下街にあふれた水が、階段からホームに流れ込んだ。線路にある送電設備も冠水。

この影響で、東山線は始発から一部区間で運転を見合わせた。

漏水の原因となった高層ビルの施工を担当していたのは竹中工務店。その後、市から承認を受けたのと異なる手順で工事を進めていたことが明らかになった。

ユーザーの信頼裏切る 大企業の事件が多発！

2009年8月、清水建設は、国交省発注工事「北近畿豊岡自動車道」に、JIS規格外の骨材の入った生コンを使用。打設部分のサンプルを採取し、電子顕微鏡観察などで分析した結果JIS規格外の骨材（コンクリートガラ）の使用が明らかになった。

「子どもたちに誇れるしごとを。」と謳っている清水建設。世界に名をはせる大手ゼネコ

ンが、人々の命にかかわる建設資材について一体どのように考えているのだろうか・・・。

品質よりコストダウンに走り、法令違反を行う企業から品質度外視の安価な生コンを納入するのはなぜなのか・・・。適正で良質な生コンを使用してユーザーのニーズに応える建造物の提供を、是非とも大手ゼネコンには期待したい。

清水はコンガラ入り生コンで公共工事



産廃物・コンクリートガラ（見本）

清水建設